

## 5 「道」分科会 要旨

*San-En-Nanshin Summit 2014 in Ensyu*

「道」分科会では、「中部圏の中核となる地域基盤の形成」をテーマに意見交換がなされた。

コーディネーター	浜松市	市長	鈴木 康友
報告者	国土交通省 浜松河川国道事務所	所長	加藤 史訓
議会	浜松市議会	議長	大見 芳
議会	豊橋市議会	議長	藤原 孝夫
議会	飯田市議会	議長	林 幸次
行政	東栄町	町長	尾林 克時
行政	豊根村	村長	伊藤 実
経済	浜松商工会議所	会頭	大須賀 正孝
経済	奥浜名商工会	会長	手塚 二八郎
経済	天竜商工会	会長	平賀 丈太郎
経済	飯田商工会議所	会頭	柴田 忠昭
経済	駒ヶ根商工会議所	会頭	山浦 速夫
住民	NPO 法人三遠南信アミ		小粥 康正
住民	祭り街道の会	会長	伊東 直幸

(敬称略)

### ■はじめに

#### コーディネーター／浜松市 鈴木市長



それではコーディネーターを務めさせていただきますので、よろしくお願い申し上げます。

本日の進行でございますが、前年度サミットでの分科会の議論の要点と本日の分科会の意見交換のポイントに関する事務局からの説明の後、国土交通省中部地方整備局浜松河川国道事務所長の加藤史訓様から、三遠南信自動車道の整備状況についてご報告をいただきます。それを終えた後に意見交換に移ってまいりたいと思います。

それでは、まず事務局から、前年度サミットでの分科会の議論の要点と本日の分科会の意見交換のポイントについて説明をお願いします。

## 事務局

それでは、前年度の議論について確認させていただきたいと思えます。

昨年 10 月 30 日開催の三遠南信サミット 2013in 南信州のこちら「道」分科会では、「三遠南信自動車道一次道を拓く交通基盤」をテーマに意見交換をいただきました。こちらの意見交換の内容をまとめますと 3 点ございます。

1 点目としまして、三遠南信自動車道やリニア中央新幹線などの広域的ネットワークの形成により、交流人口の増や産業活性化などが期待されるというものでございました。

2 点目としまして、三遠南信自動車道を救急医療や災害対策などに有効な命をつなぐ道として、早期の全面開通を強く求めるというものでございます。

最後、3 点目ですが、三遠南信地域の行政、企業、住民などが一丸となって、国や県にしっかり要望していくことが重要であるというものでございました。

以上 3 点が、昨年の分科会の概要でございます。

一方で、先ほど全体会でのお話でもありましたように、この 1 年で私たちを取り巻く環境が大きく変化しつつございます。主なものといたしましても、1 点目としましては、国の国土強靱化にかかるインフラ整備等の取り組み、2 点目としまして、いわゆる増田レポートにより注目されました人口減少と都市の消滅可能性、そしてこれに対応する地方創生の取り組み、さらには 3 点目としまして、圏域の境界を越える都市間連携を視野に入れた新たな広域連携制度の創設に関する法改正などがございました。

こうしたことを踏まえまして、本日は取り巻く環境の変化をチャンスとしてとらえ、三遠南信自動車道等の効果を地域全体で実感しながら、分科会の基本方針でございます中部圏の中核となる地域基盤の形成をいかに実現

していくか、加藤所長からのご報告の後に皆様で意見交換をお願いしたいと考えます。

## コーディネーター／浜松市 鈴木市長

ありがとうございました。

それでは、三遠南信自動車道の整備状況につきまして、国土交通省中部地方整備局浜松河川国道事務所長の加藤史訓様よりご報告をお願いいたします。

## ■報告

### 国土交通省中部地方整備局

#### 浜松河川国道事務所 加藤所長

浜松河川国道事務所の所長をしております加藤でございます。平素より三遠南信自動車道を初めとしまして国土交通行政全般にわたりご支援賜りまして、誠にありがとうございます。

本日は、三遠南信自動車道の整備状況につきまして説明をさせていただきます。

本日報告させていただく内容は、この 3 点でございます。1 点目は、この三遠南信自動車道の概要でございます。そして 2 点目が、整備状況でございます。3 点目は、現在開通している部分の整備効果のご報告でございます。

まず概要についてご紹介させていただきます。

こちらの右側に地図がついておりますが、三遠南信自動車道、一般国道 474 号は、長野県の飯田市山本から静岡県浜松市北区引佐町に至る延長約 100 キロメートルの高規格幹線道路でございます。この道路は、北では中央道、南では新東名と連絡をいたします。地域間の連携強化や奥三河、遠州、南信州地域の秩序ある開発発展に大きく寄与する重要な路線でございます。

この地図の中では、黒線の部分が開通済みの区間、そして赤線の部分が事業中の区間、そしてこの丸で示されている部分が未事業化の区間をお示しさせていただいております。

この後、起点となります飯田から進捗状況をご紹介しますので、ご紹介します。

まず、飯橋道路の状況でございます。飯橋道路は、長野県飯田市山本から喬木村氏乗までの延長 22.1 キロメートルの道路になります。このうちの飯田山本インターから天龍峡インターの間、延長 7.2 キロメートルにつきましては平成 20 年に開通しております。現在、天龍峡インターから喬木インターまでの 14.9 キロメートルが事業中となっております。さらにこのうちの龍江インターから飯田東インターの間、こちらが 29 年度に開通する予定となっております。この部分の写真が、この右下の写真になります。

続きまして、青崩峠道路の整備状況でございます。青崩峠道路は、飯田市南信濃八重河内から静岡県浜松市天竜区水窪町奥領家までの延長 5.9 キロメートルの道路となります。この区間につきましては、平成 26 年 3 月 8 日に起工式が行われました。現在トンネル調査坑の工事に着手をしているところでございまして、静岡県側でございますが、8 月より調査坑のトンネル掘削を行っております。この右下の写真がその調査坑の写真となります。

この区間までは飯田国道事務所が事業を担当しておりますが、このあと浜松河川国道事務所が担当している区間について紹介させていただきます。

続きまして、こちらは佐久間道路の佐久間インター周辺の整備状況になります。佐久間道路は、北から浜松市天竜区佐久間町川合から東栄町三輪までの延長 6.9 キロメートルの道路となります。右上は、インター周辺での橋梁工事を行っている部分でございまして、右下の写真、こちらになります。佐久間インター予定地での盛土の状況となります。

続きまして、佐久間インターのお隣、浦川インター周辺の整備状況になります。こちらになります。浦川インターは国道 473 号線に接続いたします。また、この右下の写真で

は川がございまして、この川が大千瀬川と申しますが、この川の奥側、右側にオフランプが設置されまして、この左岸側にオンランプが設置されます。右上の写真は、右岸側の大千瀬川の橋梁工事を行っている状況でございます。この右下の写真は、左岸側から東栄インター側を見たところでございます。今、大千瀬川に仮橋を設置している状況でございます。

続きまして、佐久間道路の東栄インター、こちらになります。周辺の状況になります。東栄インターは、国道 151 号に接続されます。この右上の写真において、この赤い破線の部分に道路が設置される予定でございます。現場では、道路の形がかなり明確になってきている状況でございます。また、右下の写真は、国道 151 号から進入する部分でございます。この奈根川という川がございまして、そこを横断する橋梁が完成してございまして、現在、工事用の進入路として使用されているところでございます。

ただいま紹介させていただきました佐久間道路の佐久間インターから東栄インターにつきましては、平成 30 年度を開通目標として工事を推進しております。

また、この佐久間道路の南側にあたります三遠道路の東栄インターから鳳来峡インターにつきましても、現在、工事と用地買収を推進している状況でございます。

続きまして、現在開通しております鳳来峡インターから浜松いなさジャンクションまでの間の整備効果について、幾つかの観点で見たいと思います。

このスライドは、交通量をお示ししているものでございます。この区間は、平成 24 年、2 年前の 3 月 4 日に鳳来峡インターから浜松いなさ北インターの間が開通しまして、その翌月の新東名の開通と合わせて、新東名との間の接続する部分が開通している状況でございます。それ以降の 1 日当たりの交通量を月

ごとの平均値でお示ししているものが、この棒グラフとなっております。青い棒が平日の交通量、オレンジの棒は休日の交通量となります。これを見ていただきますと、平均的には、平日では1日当たり1,700台、休日では3,100台で推移している状況でございます。

また、このオレンジの棒をよく見ていただきますと、5月、8月、11月、そういった月の休日の交通量が多く出ております。5月はゴールデンウィーク、8月はお盆、11月は紅葉シーズンでございます。こういった期間に沿線地域の観光振興に寄与していると考えられます。

また、そういった交通量の増加による効果でございますが、まずは観光交流の観点でございます。愛知県東栄町にはとうえい温泉がございます。このとうえい温泉での入浴者数をこちらのグラフではオレンジの棒で、また年間の売上高を平成23年度の売り上げを100とした場合の変化率というかたちで青い線でお示ししておりますけれども、三遠南信自動車道の開通以降、売り上げ、入浴者数とも増加傾向にあるのが見ていただけるかと思えます。また、とうえい温泉では、開通に伴う入浴者数の増加を契機に、温浴施設のリニューアルを実施されておりますので、そういった相乗効果による地域活性化が促進されている状況と考えられます。

また、観光交流の観点でもう1つの事例でございますが、愛知県の豊根村の茶臼山高原で開催される芝桜まつりの来場者数についても整理させていただいております。こちらがそのグラフでございますが、平成23年から26年を比べてみますと、来場者数が増加傾向にあるのがおわかりになるかと思えます。例年多くの来場者数でにぎわっているところですが、三遠南信自動車道の開通後にさらに増加傾向にあると、そういった状況でございます。

次に、医療福祉の観点で効果をお示した

ものがこちらでございます。こちらは、東栄町の東栄病院から二次救急医療施設である豊川や豊橋への病院、あるいは三次救急医療施設である浜松医大病院への移動時間、所要時間を整理したものでございます。開通前におきましては、東栄病院から豊川あるいは豊橋、浜松に1時間程度の時間がかかっておりますけれども、その時間がこの鳳来峡インターまでの開通によりまして、豊川・豊橋方面であれば10分程度、浜松医大病院ですと17分間短縮するような効果が出ております。

また、三遠南信自動車道は高規格道路ということもございまして、走行性自体が向上しているということもございまして、搬送される患者さんの負担軽減にもつながっているというご意見をいただいているところでございます。

次の観点でございますが、産業の観点でございます。

こちらは、東栄町にある企業におけるものを整理したものでございますが、こちらの工場から湖西市や磐田市等の太平洋岸の企業と取り引きが行われている中で、所要時間や走行性といったところに課題を抱えていると伺っております。例えば、11トン車で湖西方面へ運ぶ場合、開通前の状況ですと荷づくり4時間、走行時間が2時間15分、余裕時間を1時間みて、合計で7時間15分みなければいけない状況だったものが、開通後になりますと、走行時間が短縮するのはもちろんのこと、荷崩れの心配が減るということで梱包にかかる時間も削減できるという効果から、荷づくりの時間も減少しているということもございまして、全体の予想時間が減少する効果が見られております。こういった面では、輸送の大幅な効率化に貢献しているものと考えております。

最後に、生活面での効果をまとめたものがこちらのもになります。この鳳来峡インターと浜松いなさ北インターの間にあります渋

川寺野インターの近くでございますけれども、こちらは渋川の寺野地区でございます。こちらは、三遠南信自動車道の開通後に住民の方の約9割が三遠南信自動車道を利用されておまして、買い物や通勤などの日常生活の道路となっているという状況でございます。

また、この寺野地区の住民の方を対象としたアンケートで把握されたデータでございますけれども、開通後に感じた効果としてどのようなものがあるかといったところでございますが、上の3つにありますような、走りやすくなったとか、生活が便利になったとか、あるいは所要時間が短縮された、こういった効果とまた別に、急病の際、病院までの時間が短縮され、安心感が向上したとか、あるいは災害に強い道路ができ、不安が解消、減少した、こういったような緊急時の安心感が向上するような効果が、こういう声をいただいております。そういった面においては、沿線住民の安心で快適な生活環境づくりに貢献していると考えております。

以上のようなかたちで三遠南信自動車道、今、すべての区間開通に向けて鋭意進めているところでございます。ぜひ引き続きご支援のほどよろしくごお願い申し上げて、報告を終わらせていただきます。



#### ■意見交換

#### コーディネーター／浜松市 鈴木市長

加藤所長様、ありがとうございました。  
今、報告がございましたが、今までの報告

に対しましてご質問等ございましたらお願いいたします。よろしいですか。

それでは意見交換に移らせていただきます。時間が限られておりますので、ご発言につきましてはお一人様5分程度でお願いをいたします。

今、三遠南信自動車道の整備状況につきまして、加藤所長からご報告をいただきましたが、24年3月の鳳来峡インターから浜松いなさ北ジャンクションまでの供用開始によりまして、今、加藤様からもご報告がありましたけれども、今、さまざまな効果があらわれてきているということでございます。

そこで、こうした交通基盤整備による効果の具体的内容をご紹介いただくとともに、今後整備が予定されている地域の皆様におきましては、どのような効果を期待するのか、まずはそうしたポイントでご意見をいただきたいと思っております。

まずは7名の方から順次ご発言をいただきまして、その後、ご意見がある場合は、挙手にてご発言をいただくことにしたいと思います。

それでは、まずお1人目といたしまして、浜松市議会議長の犬見芳様からお願いいたします。

#### 浜松市議会 犬見議長

よく言われるわけですがけれども、日本も人口減少、また急激な高齢化ということで、一方では東京への一極集中が進んでいる。こうした中で今、安倍政権が地方創生ということの一つの大きな旗印にしているわけで、我々地方の人間といたしましても追い風だとも思うわけですがでございますけれども、本日サミットの冒頭、鈴木康友浜松市長も言われましたとおり、増田レポートという衝撃的な報道もございました。

そうしたものをあわせて考えてみますと、今後、地方といえでもやはり自己研さん、自

助努力というものをしっかりやったところが生き残っていくと。何もせずに座していたところは消滅していくとも思うわけで、この三遠南信地域全体といたしましても、ハード・ソフト両面で連携を強化していくということがやはり求められているのではないかと思います。

先ほど加藤所長からもいろいろとご説明いただきまして、部分供用でありますけれども、三遠南信自動車道も部分的に供用開始している中で非常に効果が大きいと私も思っております。産業や観光交流、また医療というようなところでの効果が出ているなと思っております。ですから、全線開通ということを早く求めていきたいとも思います。

具体的に申し上げますと、数字にはあらわれないわけですが、さっきもちょっと出ましたけれども、二次救、三次救への患者の搬送というような中で、瀕死の状態で救急車で運ばれるわけで、あの地域、カーブや上り、下りと非常に道が悪いわけで、そうした中でこうした三遠南信道というようなもので患者の負担がものすごく少なくなっているのではないかなとも思いますし、これまで我々が経験してきた災害に対しても、災害に強い幹線道路というものが、孤立集落、そうした問題も解消していくのではないかなとも思っております。

そもそもこの三遠南信地域の連携というのは、トライアングル構想というところから発しているのではないかなとも思うわけです。三角形がそれぞれ交流、連携を図って強化していくということでございますけれども、その中身であるところは、広大な中山間地域ということであり、この地域の振興をどういうふうに行っていくかというのも、この三遠南信地域の大きな課題でもあると思っております。

もちろん三遠南信自動車道の整備促進を進めていくということも大事でございますけれ

ども、それと同時にそれにつながるアクセス道路の整備ということもしっかりとやっていかななくてはならないのではないかなとも思いますし、いよいよ新東名の愛知県側供用開始というものも控える中で、我々中山間地も含め、三遠南信地域が受け入れ態勢というものもしっかりつくって、次の時代というものに備えていかななくてはならないと思います。

#### コーディネーター／浜松市 鈴木市長

ありがとうございました。

大見議長は、ご存じのとおり佐久間町のご出身でございますので、活動の舞台もそこでございますので、特に三遠南信の部分供用にしろ、供用開始による効果は肌身で感じていただいているのではないかなと。佐久間道路まで完成しますと、大変、さらにすばらしい効果が期待できるということだろうと思います。

さて、続きまして、豊橋市議会の議長の藤原孝夫様からご意見をいただきたいと思っております。

#### 豊橋市議会 藤原議長

まず交通基盤の整備状況ということでございます。隣に浜松市さん、そして飯田市さんの議長さんがおいでになりますけれども、高速道路のインターチェンジがないというのは、私ども豊橋でございます。全国でも38万都市になりますと、実は大体高速道路のインターチェンジがあるわけでございますが、豊橋にはそれがありません。そうすると、今、私どもの産業の一番中心であります三河港がございませぬけれども、そこと高速道路とのアクセスが非常に悪いということで、大変大きな問題意識がございます。

そこで、三遠南信地域連携ビジョンの重点プロジェクトとして幾つか記載されております。1つ目は、国道23号名豊道路でございます。豊橋・浜松圏と西三河・名古屋圏とを結ぶものでございます。一昨年の10月には豊橋





なりましたように、浜松三ヶ日・豊橋道路はぜひ必要だということでもあります。そのためにこの浜松三ヶ日・豊橋道路の調査実施や三遠南信自動車道の整備を促進するために、今後、行政や経済界が一体となって国への要望を取り組んでいく必要があるかと思っておりますし、毎年でございますけれどもこの3市の議長が国へ三遠南信、浜松三ヶ日道路について陳情をいたしております。今年も既に10月に行ってまいりまして、大臣にお会いして要望をしてまいりました。

また、最近では浜松三ヶ日・豊橋道路につきまして、その当該地であります湖西市さん、豊橋市、それから田原市の3市議会の議長が一体となって取り組んでいこうということで、今、運動を開始いたしておりますが、これから当該組織と連携しつつ、そして既存の促進団体とも連携しながらしっかりと運動を展開していく必要があるかと思っておりますし、行政、産業界、あるいは我々議員が一体となって国への要望を積極的に取り組んでいく必要があると考えております。

#### コーディネーター／浜松市 鈴木市長

ありがとうございます。主に23号の整備状況等についてご報告いただきましたけれども、私もときどき名豊バイパスを通るものですから、潮見バイパスとつながって大変便利になりました。これは接続すると非常に整備効果が高いなと思えました。

今、問題として指摘されました東西はいいのですけれども縦が、特に豊橋の場合は東名、新東名へのアクセスが悪いということですが、この浜松三ヶ日・豊橋道路ができますと、三河港は一気に東名、新東名、そして三遠南信とつながりますので、これからあれもこれもというのは難しい時代ですけれども、この縦の接続道路だけは非常に整備効果が高いと想定されますので、ぜひみんなでやっていかなければいけないと思えます。

続きまして、東栄町の町長の尾林克時様にお問い合わせいたします。

#### 東栄町 尾林町長

今まで余り注目をされたことはないのですが、今日のスライドでも、ここでも東栄、東栄と名前を言われまして、私ども、三遠南信自動車道につきましては、大変最も恩恵を受けている町村ではないかなと、本当に心から感謝をいたしております。

少し具体的に申し上げたいと思いますが、皆様方ご承知のとおり今から2年半前に三遠南信自動車道鳳来峡インターからいなさジャンクションとの間と、新東名高速道路が三ヶ日ジャンクションまで開通をいたしまして、それまで私どもの生活圏は、主に151号を基幹といたしました東三河、いわゆる豊川、豊橋、新城と、それから名古屋方面が主にあつたわけでございますが、これが大きく変わっております。

時間的にも豊橋までは約1時間30分掛かり、また名古屋へも2時間30分掛かっておりましたが、この三遠南信道を使うことによりまして、豊橋へは20分ほど短縮ができました。名古屋へは約45分から1時間短縮されたということで、本当にありがたく思っております。また、浜松市へも2時間ほど掛かっておりましたけれども、これも30分短縮されて1時間半で行けるようになったということで、私どもの地域からは、買い物あるいは病院、あるいは電車も、浜松はひかりが1時間ごとにとまりますので、私どもは浜松駅を使うことが多くなっております。

現在では、時間の短縮とともに経済、観光、医療の面でもその選択肢が浜松方面へ大きく広がり、生活がさま変わりしているというのが現状でございます。

2点ほど申し上げますが、三遠南信の整備状況でございますが、先ほどもお話がございましたように⑦のところでございますが、東



栄インターから佐久間インター間の佐久間道路につきましては、佐久間の第一トンネルの掘削工事が着々と進められておりまして、既に436メートル、12.7%が掘り進められております。

また、東栄町につきましても道路整備が進められており、東栄インターにつきましても道路整備が進められており、平成30年には開通の予定となっております。

また、懸案でございました東栄インターから鳳来峡インターの三遠道路、これがおくれていたわけですが、本体工事を行うための仮設橋の整備、あるいは橋脚工事が、あるいは進入道路の工事が進められておりまして、大変目に見えたかたちで今、進捗をいたしております。予算的にもこの3年間で87億というような本当に驚異的予算をつけていただいて、少しおくれて開通をされるのではないかと思います、できれば30年に同時開通ということで、私も強烈にお願いをいたしているところでございます。

また、三遠南信自動車道はほとんどがトンネルでございまして、私ども多くの残土が発生します。東栄町では、昨年度は約100万立方メートルの土量を処分できる処分地を町有地として確保いたしまして、工事の進捗に協力をいたしております。さらに鳳来峡インターに向かっても大量の残土が発生するから、今後も同様に処分場の確保をし、全力を挙げて私どもも対応をしていきたいと思っております。

2番目に整備効果についてですが、これについては⑨で先ほど話がございましたが、東栄町には温泉がございまして、そこに花まつりの湯というとうえい温泉がございまして。先ほど話がございましたように20%売り上げ、あるいは来客者数も増加いたしております。東栄インター開通の折にはさらに増加することなどを期待しているところでございまして、本年度は温泉の横に、天然療養泉という

温泉の効能を生かして湯治あるいは宿泊滞在をしながら健康体験プログラムを提供するとうえい健康の館という施設を1億8,000万円かけて、今リニューアルをいたしております。

また、周辺には廃校になった木造の小学校がございまして、現在、県でのき山学校というところで助成をいただきながら、新たな居住拠点の整備をいたしております。これは志多らという太鼓がやっておりますNPOのてほへに委託しまして、今、その廃校舎にカフェと図書室等々を設置いたしまして憩いの場の提供をするのと同時に、ワークショップ等を開催して、くつろげる場所、あるいは町外の皆様方との交流の拠点として今後整備をしていくということでございますので、よろしくお願いいたします。

さらには、東栄町は、チェーンソーアートが発祥の地でございますので、チェーンソーアートの大きな作品を2体ずつ今、製作いたしております。また国の重要無形民俗文化財の花まつり、イベント等についても積極的に取り組んでいきたいと思っております。

来年度末までには、いなさジャンクションから新城インターを通過して豊田東まで新東名高速道路が開通する見込みでありまして、道路部門が整備され、こうした取り組みを進めることによって多くの皆様方が東栄町に訪れていただき、町のことをもっともっと知っていただくことで定住にもつながっていくことを期待いたしております。どうぞよろしくお願いいたします。

#### コーディネーター／浜松市 鈴木市長

ありがとうございます。先ほどの加藤所長の報告にもございましたけれども、整備効果のシンボルとしてよく引用されるのが東栄町様でございまして、町長はじめ皆様、三遠南信自動車道の整備による効果が一番ご実感いただいている地域ではないかなと思います。どうもありがとうございます。

続きまして、先ほどパネラーとしてもご登場いただきましたけれども、浜松商工会議所会頭の大須賀会頭様からお願いいたします。

#### 浜松商工会議所 大須賀会頭

浜松商工会議所会頭の大須賀でございます。

私は、道路をどんどん造るということは余り賛同していないのです。あれば便利だという位の道路はあまり賛同しない。造れば必ず維持費が掛かります。絶対に必要な道路だと、この道路はすぐに造らなければいけない道路には賛同します。私は、この三遠南信道路というのはもう絶対になくてはならない道路だということを真剣に思っています。これを一日も早く開通していただくために、三遠南信地域経済開発協議会の関係諸団体、協議会のメンバーである 49 の商工会・商工会議所と、その地域の 11 の農業協同組合を構成員として平成 17 年に設立され、皆で 12 月にも政府に陳情に行き、一日も早い開通をお願いするというので、今までの計画以上に、経済の効果がありますよということを一生涯懸命お願いしたいと思えます。また、現道活用区間であった水窪北から佐久間間の区間については、昨年、ルート案が定まり、三遠南信自動車道の全線ルートがかたまったことは非常にいいことだと、私も本当に感謝いたします。

そういうことで、私は全員参加で、みんなで行えば、みんな全員がプラスになる道路。これはとんでもなく大きな、計算したら本当にもものすごい金額の経済効果だと思えますので、一生懸命頑張っていきたいと思えますので、よろしく申し上げます。

#### コーディネーター／浜松市 鈴木市長

ありがとうございました。大須賀会頭からは、新東名より先にこっちを整備しなければいけないぐらいの道だと、大変力強いお話をいただいております。また一致団結をして、一日も早い整備促進に努めていきたいと思

います。

続きまして、飯田商工会議所会頭の柴田忠昭様からご発言をお願いします。

#### 飯田商工会議所 柴田会頭

先ほど浜松の河川国道事務所の加藤所長さんより、工事の進捗状況については詳しくお話がありましたが、それと多少ダブりますけれども、今日、実は私ども、飯田からこちらまで参ったわけでありましたが、その辺のところと重ねながら現在の状況についてお話をまずさせていただきたいと思えます。

今年の 2 月に新しい飯田商工会議所の会館ができましたが、その前に、今日、飯田から来ている者十数人が集まりまして出発をいたしましたのが 6 時 15 分でした。飯田インターチェンジから中央自動車道の飯田山本インターチェンジを経由いたしまして、三遠南信自動車道の今、開通をしております飯田山本インターチェンジから天龍峡インターチェンジまでを通過して、そこから一般国道に出ました。三遠南信自動車道というのは、皆様、この三遠南信ロードマップを見ていただくとわかりますが、基本的に国道 152 号ですが、この道は事実上、青崩峠で通行不可能ということになっております。昨日、峠の国盗り綱引き合戦が行われました浜松と飯田市の境は、この通行不能区間で行われているものであります。

話を元に戻しますと、私どもは、天龍峡インターチェンジで降りまして国道 151 号をどんどん下りてきました。愛知県を通り、それから静岡県に入ってきたと、こういうルートであります。何ともおかしな話ではあります。ロードマップを見ていただくとおわかりいただけると思えます。そして鳳来峡インターチェンジで再び三遠南信自動車道に乗りまして、浜松いなさジャンクションを新東名高速道路に抜けて、そしてこの会場に着いたのが 9 時 59 分、まさに 10 時というところでございます。実に 3 時間半を超える長旅であ

りました。そういうのが長野県の状況でありまして、とにかく一日にも早い整備、完成を願っているところであります。

ちょっと話がずれるかもしれませんが、実は今月の24日に長野県から、リニア中央新幹線にかかわる地域の道路についてどこが主体をもって整備していくのかというリニア関連道路整備について発表がありました。飯田市がやるのか、長野県がやるのか、国がやるのか、あるいはそれらが協力しあってやるのかということが発表になったわけでありまして、これについては、いずれにしましても2027年が開通の期限ということで決められているわけでありまして、そこに向かって着実にこれから先13年にわたって工事が進んでいくことだろうと思っているわけでありまして。

一方、その点では、先ほども三遠南信地域経済開発協議会で発言をさせていただきましたが、三遠南信自動車道については、こういう会議があるたびにあと10年、あと10年、開通まではあと10年と掛け声だけではできませんが、10年経っても、20年経ってもいまだに全通ができない。今日現在でも完成の目途が、最終的には何年という目途が立っていないというところについては、具体的などころを一日も早く、佐久間 - 水窪間の道路の直轄が決まったこともあわせて、完成の目途をぜひつけていただきたいなと思っております。

それから、開通した場合の効果のお話でありますけれども、私どもはリニアとあわせて、何かというとりニアだ、三遠南信だということを題目に地域の発展をいろいろ考えながら運動しているのですが、いわゆる伊那谷だけではなくて、経済団体といたしましては、今日、駒ヶ根商工会議所さんもおいでいただいておりますけれども、リニア中央新幹線伊那谷・木曾谷経済活性化協議会というものを立ち上げまして、経済団体としては、三遠南信もリニアも含めて、それぞれの商工会、商工会議所が運動するのではなく、もう1回言い

ますとリニア中央新幹線伊那谷・木曾谷経済活性化協議会で一つになって考えて、この利便性、経済効果を考えていこうじゃないかということで去年の11月に発会をして、現在、年度としますと4月の新年度が新たに第2期目として始まったところであります。

大変大きな経済効果を当然のことながら期待をしているわけでありまして、何といたしましても道路ができるためには、予算確保の要望をしっかりとしていかななくてはいけないというのが一番大事なことだろうと思っております。何度も何度も要望活動を行っておりますが、しかるべき方のお話を聞きますと、この三遠南信自動車道には去年160億円を超える予算がついております。それだけ大きな予算がついているのですが、まずそれは補正予算ではなくて本予算でどこまで取れるかが一番に大事なことで、それから補正予算を上乗せしてもらって一日も早く開通を目指せと言われておりますので、とにかく予算確保を。まもなく来年度予算、概算要求も終わりました、ぼつぼつ数字が出てくるのかなと期待をしているところでありますけれども、この要望活動をしっかりと継続していかななくてはいけないと思っております。

#### コーディネーター／浜松市 鈴木市長

ありがとうございました。飯田市さん、南信州では、三遠南信に加えてリニアというのは大変大きな取り組み課題になっているわけですが、この予定でございます2027年に向けて、できれば三遠南信自動車道全線開通となればいいのかなと。懸案だった水窪から佐久間までが、これは国が直轄でやっていただけるということで、非常に不透明だった全線開通へのめどがつかまりましたので、あとは会頭おっしゃるようにしっかり予算要望して、一日も早く供用開始をめざそうということだろうと思っております。

続きまして駒ヶ根商工会議所会頭の山浦速

夫様からご意見をいただきたいと思います。

### 駒ケ根商工会議所 山浦会頭

私からは、駒ケ根地区の国道 153 号の整備の状況とその効果について説明をさせていただきます。

私どものところは伊南地区といわれる長野県上伊那郡南部地域でございまして、日本全国にある地方都市の同じ共通する悩みの少子高齢化、そして人口減少の進んでいるところでございます。

その中で 153 号の通称伊南バイパス駒ケ根 - 飯島間でございますが、駒ケ根市内はほぼ完成がなされているわけでございます。飯島地区も順調に工事を進めていただいております。また駒ケ根から北の伊那市までの間の生駒アルプスロードにつきましては、路線計画の検討が大詰めにまいっております。また、中央道の駒ケ岳サービスエリアに駒ケ根スマートインターが平成 29 年 1 月に開通する予定で今、進んでいるところであります。おかげさまで駒ケ根地区、5、6 キロの距離のバイパスの完成でございますが、地域に大型店舗が進出するとか、有名専門店が進出してくるとか、また市内から店舗が出てくるとかということもございまして、大変にぎわいを見せております。特に周辺の住宅地の南田区画整理事業をやりまして、大変まちなみのいい住宅地が形成されまして、若い方たちがそこに定住するというような非常にきれいなまちなみができてきております。

国道 153 号とリニアの連結による観光と産業の効果につきましては、名古屋とリニア長野県駅が結ばれますと 20 分間で到着することになっております。平成 39 年の開通でございますが、リニア駅から 153 号を利用する、ないしは中央自動車道にアクセスして駒ケ岳スマートインターまで来たとしますと、名古屋から 35 分か 40 分ぐらいで駒ケ根の観

光地に着くわけでございます。セントレアからも全体的には 1 時間 40 分、2 時間以内で駒ケ根の観光地に到着するというところでございますし、東京、品川からリニア長野県駅までは 40 分と。そのリニア県駅から 153 号、ないしは中央自動車道にアクセスして駒ケ根スマートインターまでは 15 分でございますから、品川から駒ケ根までは 1 時間で到着すると基本的にはなるわけでありまして。羽田からも 1 時間 15 分ぐらい、1 時間 30 分ぐらいで駒ケ根に来るのではないかと期待をしているところであります。

このことによりまして、私ども駒ケ根地区の基幹産業であります製造業の主力は精密電子、自動車部品の製造の産業界でございます。三遠地区は自動車産業を中心とした日本を代表する産業立地の場所でございますから、そのところとの取り引きが多いわけでございますので、輸送コストの削減や輸送時間の短縮にもつながってきますし、また今後のビジネスの拡大にも期待が大いにもてるところでございます。

また、大都市からの観光客はもちろんのこと、海外からの観光客の流入も大変多くなってきているのではないかと期待をしております。中央アルプスには東洋一というロープウェイがかけられておりまして、駒ケ根の観光産業が一層活性化するのではないかと考えているところであります。

特に今、駒ケ根市では第 4 次構想を発表しております。その中で、今現在 120 万人の観光客の方に来ていただいておりますが、200 万人の観光客に地元に来ていただく、駒ケ根に来ていただく。そして一人当たり 1 万円のお金を地元で使っていただくというような計画も組みながら観光地づくりもやっております。

特に伊那地区は災害に強いところであります。大きな台風にもあいませんし、津波もございません。地震にも強いところでござい

ますので、大変住みよい場所でございます。これからそういう交通網ができてきますと、都会からの定住の方たちも増えてくるのではないかと思います。伊那谷という言葉がそうなってくると地域と合わないような感じがするので、私な伊那バレーと呼ぶことの方がふさわしいのではないかという気がしております。特に三遠南信自動車道が開通しまして浜松までつながりますと、私どもは静岡の温暖なところ、ミカンの里というのは大変夢があるのです。当然ミカンの里の静岡の方たちも長野県の寒冷地のリンゴがたわわに実った風景というものに大変あこがれてくれると思うのです。そういう意味において、私は大変観光の上でも相乗効果が、三遠南信自動車道ができて全面開通ができれば、すごい効果が出てくると期待をしております。ぜひ早期全面開通をやっていただくために、私はいずれにしても連携を周辺の商工会議所、飯田商工会議所さんはもちろんのこと、伊那市の商工会議所さんとも連携を深めておりますし、周辺の商工会の方々とも連携を深めながら、一層早期開通に向けて一致団結をしながら進めてまいらなければならないと覚悟を決めております。ぜひとも皆様とも協力しあいながら進めてまいりたいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

#### コーディネーター／浜松市 鈴木市長

ありがとうございました。山浦会頭からは、153号線の整備によって地域の開発が大いに進んでいるとのご報告をいただきました。

それでは、続きまして祭り街道の会事務局長の伊東直幸様からご発言をいただきたいと思ひます。

#### 祭り街道の会 伊東事務局長

私たちの地域は、三遠南信道から少し離れた151号の県境のところの地域ですけれども、最近、三遠南信道、新東名が整備して、延長

されてきまして、三遠南信を使った人たちの入込客がすごく増加してきております。おかげさまでそういうことで新野にある道の駅もすごくにぎやかなところになってきたわけですが、そこに至るまで151号、県境のところのわずか2キロという未改良区がありますので、そこはまた冬に大変なときがあるということですので、ぜひそれを解消していただければありがたいと思っております。

祭り街道が制定されて一応15周年ということで、151号へそういうネーミングをつけて地域の活性化について活動をしてきたわけでありまして、先ほども昼前、住民セッションの中で、住民の皆さんと一緒にこれから祭り街道をどう生かしていったらいいかというようなお話をさせていただきました。三遠南信道がだんだん延びてきて開通し、またそこへいかに私たちの地域がアクセスして皆さんにそこへ来ていただくかということ、これからまた真剣に考えていかなければならないと思ひますし、三遠南信道が開通した暁には、行きは三遠南信道、帰りは151号の祭り街道よと。またその逆をまわってもらおうよと、そんな形で地域に元気が出ていったらいいかなと思っております。

151号の沿線にはすごい祭り文化の集積地みたいなところで、祭りの宝庫みたいなことをいわれていますし、訪れる人たちがすごくそれを楽しみにしております。また、151号、それぞれの地域と密接な近隣の町村とつながりがあって、その人たちの生活を支える大事な道路ですし、ただ高速の道があいて、地域が通過点になるということではなく、中身の中山間地が潤って力がついてくれば、三遠南信の全体の力にもなるのではないかなと思っております。現時点では、151号は三遠南信の中軸として大事な路線として活躍をされていますし、またそのもとになる道路から支線がいっぱい延びて、各地域まで血液がいきわたるような地域づくりをしていけたらありが

たいのではないかなと思っております。高速道路があいて通過点になるのではなくて、地域全体が潤えるような道の整備もぜひお願いをしていきたいし、そういう地域であることこそ力強い地域になっていくのではないかなと考えております。よろしく申し上げます。

#### コーディネーター／浜松市 鈴木市長

ありがとうございました。我々も飯田へ行くときには、今、三遠南信の供用部分と 151号を使って飯田へお邪魔していますけれども、これは三遠南信とうまく連携ができることでも地域にとっていいのではないかと。2キロほどまだ未改良部分があるというお話でございましたけれども、こういうのは早く改良工事をしていただければと思います。

さて、今、こうした道路等の交通基盤の整備によりましていろいろこういう効果が出ていますよという具体的な話につきまして、7名の方からご意見をいただきましたけれども、発言をいただかなかった方から、これだけは言っておきたいというようなことがございましたら、挙手によってご発言いただければと思いますが、いかがでしょうか。特によろしいですか。

続きまして、少し論点を変えまして、次は、先ほど事務局からも説明がございました環境の変化をとらえつつ、こうした効果をより高めるために取り組むべき課題です。こうして交通基盤が整備されて、いろいろな効果があるわけでございますけれども、それをより高めるために取り組むべき課題につきましてどうしたらいいかということについて、今から5名の方からまずご意見をいただきたいと思っております。

まず、飯田市議会議長の林幸次様からご発言をお願いしたいと思います。

#### 飯田市議会 林議長

これから取り組むべき課題についてでござ

いますが、今後、三遠南信自動車道の整備によりまして、先ほど来出ておりました医療サービスの向上とともに災害に強い地域ネットワークが構築されていく。また、三遠南信地域の災害時の相互応援協定に伴う連携促進が可能となってまいりまして、災害時の安全、あるいは信頼性の強化が期待されるところでございます。

こういった期待される効果が一日も早く発揮されるためにも、ミッシングリンクと呼ばれております未整備区間が存在するこの三遠南信自動車道の早期全線開通が何よりも望まれるところでございます。

私、今日、朝早く飯田をたつてこちらにまいったのですが、行きは高速道路を使おうということで中央道、東海環状、東名を走ってまいりました。ところが岡崎あたりで大渋滞に遭遇しまして、これは間に合わないぞということで急きょ蒲郡インターでおおりて国道1号へ出て、来ました。これも間に合わないぞということで、豊橋の駅から東海道線でここまでたどり着いた。飯田市のお隣さんが浜松市さんでございましてけれども、実に4時間近く掛かってしまいましたので、今日も改めてこの三遠南信自動車道の必要性、重要性をしみじみと実感したところでございます。

この三遠南信圏域の市町村議員は、三遠南信、浜松三ヶ日・豊橋道路建設促進議員協議会を構成いたしております。この2つの道路の建設の促進のために調査研究、あるいは関係議会の要望活動を 28 市町村の議員の総意によって行っているところでございます。今年も今月9日には、浜松市、豊橋市、飯田市、私ども3人の議長が代表いたしまして、国土交通省を訪れて、三遠南信自動車道の早期整備促進、あるいは浜松三ヶ日・豊橋道路の早期事業化を要望いたしまして、そのために来年度以降の予算確保の要望を太田国土交通大臣に直接要望してまいったところでございます。

今年の7月からこの SENA が新体制になったことによりまして、南信地域からは駒ヶ根市、飯島町、宮田村、中川村の4市町村、また遠州地域からは4市の合計8つの市町村議会がこの道路協議会に新たに正規構成員に加わっていただいたところでございます。大変広大な面積を有することになったわけですが、この三遠南信地域におきまして産業振興や交流人口を拡大させるための地域間を結ぶ骨格となる三遠南信自動車道の整備がますます重要となってまいります。

さらにこの整備を推進させるためには、SENA を構成いたします地域住民、経済界、そして行政が一丸となって国や県に対して要望を強めていくことが、三遠南信自動車道の早期全線開通、そして浜松三ヶ日・豊橋道路の早期事業化、さらにはリニア中央新幹線の早期開業につながっていくものと考えているところでございます。

#### コーディネーター／浜松市 鈴木市長

ありがとうございます。議会の側から力強いご支援をいただいているというご発言をいただきました。いずれにしましても早期全線開通に向けまして、一致団結をしてやっていかなくてはいけないと思います。行政側というのは、往々にしていろいろ温度差があったり、動きにばらばら感があったりするのですが、こういうのを叱咤するためにもぜひ議会の皆様が一丸となってご支援をいただければと思います。ありがとうございます。

続きまして、豊根村村長の伊藤実様からご発言をいただきたいと思います。

#### 豊根村 伊藤村長

今、先ほど7名の皆さんから、この道路に対する思いだとか、期待だとか効果、いろいろなものを聞かせていただきましたけれども、私どもの村も大きな効果が上がっている一つの村でございます。

私どもの村は、ご案内のように三遠南信の話をしていただきますとちょうど真ん中にありまして、北が長野県と接しておりますし、東が天竜川を境として静岡県と接しております。ただ、そういった中で私ども地域を見ておきますと、この道路へのアクセスというのは151号一本なのです。飯田へ行くにも、浜松に行くにも、豊橋に行くにもこの道一本が主軸の道ということになっております。

私ども、先ほど加藤所長さんからも茶臼山のことを触れていただきましたけれども、観光と交流で村づくりをやっておりまして、今、茶臼山高原には60万人ぐらい来ていただいておりますし、春の芝桜では20万から30万人。分析をいたしますと、この道路が一昨年開いてから、2割ぐらい関東方面が増えたなと思っております。私どももご多聞にもれず大きな効果が上がっておりますし、またこれ以上期待をしているところでございます。

そんな中で、今、効果を高める課題ということですが、私ども、3年前にただ唯一の国道の太和金トンネルが、内部崩落がありまして、半年以上通行止めになりました。それは、私どもにとっては生活だけでなく、医療から福祉から通学からすべてのものが止まったという感じで大変苦勞したわけですが、私どもだけでなく、このことが南信地域の方々にも大きな影響が出たなと思っております。

そういったことを考えますと、やはりいろいろな地域開発、地域振興を図っていくときに三遠南信自動車道、新東名に合わせて、そこに到達するアクセス道路、それも並行して進めていかないと、やはり大きな効果が出てこないのかなと思っております。そのことを地域全体としてとらえていかないといけないのかなと思っております。

先ほど浜松市の街頭さんが言われました。本当に必要な道はしっかりつくっておかないといけない。私はやはり幹線的なもののはし



っかり、災害のことも含めて、そこにアクセスする道路も並行して進めていくことが効果の上がることになると思っております。

そんな中で私どもは、今、観光と交流と言ったわけですが、飯田市まで1時間ぐらいです。浜松の駅までも1時間半ぐらいで行ける。そんな中で私どもは、生活しやすい地域と働く地域が別にあってもいいのかなということで、今、私どもは定住促進をしながら、通える地域づくりもいいたらこうということ、都田の工場まで1時間ぐらいで行けるのかなと思っております。まさに東栄のインターができれば、さらに20分くらい近くなる。そんなことで地域のあり方というのは、そういった機能分担をしっかりとみんなで認め合う、かばい合う、支え合う。そういったことで三遠南信地域が素晴らしい地域になることが一番いいことかと思っております。

私どもだけのことを言いますと、やはり地域が変わっていく。このパンフレットにもありますけれども、変わりゆく社会環境の中でとタイトルがうたってあるわけですが、こういうことをいち早く察して、やはり受け皿、地域のあり方をしっかりとつくっておかないといけない。そんなことで私どもは、今、道の駅をしっかりと整備をしながら、100万人をめざそうということで、100万人突破アクションプランというのをつくらせていただいております。やったことに足跡が見えていく、そういった地域づくりもやっております。そのためにはやはり地域が一体となった取り組みと、もう一つは道を媒体とした地域連携、そのことがますます強くなっていくことが、地域の発展につながると思っております。

やはり生活道路もしっかり守っていかないといかんなどということ言いたかったということでご理解いただきたいと思っております。

#### コーディネーター／浜松市 鈴木市長

ありがとうございました。豊根村さんもか

なり三遠南信自動車道の部分供用によって観光客が増えているとか、いい影響が出ているということでございますが、今、村長からお話がありましたとおり、三遠南信自動車道だけでなく、それに連なるアクセス道路、幹線道路の整備強化、これが地域の皆様のより生活、産業等を高めることにつながるということで、それが大事だというご指摘をいただきました。ありがとうございました。

続きまして、奥浜名湖商工会会長の手塚二郎様からご発言をお願いします。

#### 奥浜名湖商工会 手塚会長

奥浜名湖商工会といっても浜松市でございますが、私のところは、浜松市の中でも豊橋市、また南信地域に全部接しているところですから、この三遠南信が開通することによって、本当に恩恵を受ける、またいろいろ利用しやすい地域だと思っております。

先ほどいろいろな話、飯田の人、豊根村の人でも浜松駅まで行くと言って、浜松駅まで行ってもらっては困るものですから、ぜひともこの奥浜名湖地域というのを忘れないで、私のところへ止まってほしいと思っております。そのためにもいろいろな産業、商工会全体、県全体がそうですが、いろいろな新規の事業とかをやる人にも応援しているものから、近いですので、豊橋、また飯田の方からも若い人にどんどんこちらに来てもらいまして、できれば娘さんでも、旦那さんでも結婚してもらいまして、新しい事業をこの地域で起こしてもらいたいと思っております。

そのためには、私たち商工会自体も全面的に応援する体制はできております。そのためにも我々地域の住民は非常に丸いというか、非常にみんないい人ばかりなので、来れば全面的に応援して、一生懸命やってくれると思うものから、ぜひともこの開通後、また開通の見通しができたということで大いに期待をしております。開通後、またこの奥浜

名地域を忘れないように大いに宣伝したいと思うものですから、また交流のほどをよろしくお願いします。

#### **コーディネーター／浜松市 鈴木市長**

ありがとうございます。奥浜名湖地域もちょうど新東名と三遠南信の結節点にありますし、湖北五山なども観光客もふえていますし、竜ヶ岩洞なども観光客がずいぶん増えたということで、いい効果が出ているのではないかなど。地域住民がしっかりと味方になるということでございますので、またよろしく願います。

それでは、続きまして天竜商工会の平賀会長からご発言をお願いします。

#### **天竜商工会 平賀会長**

私どもの三遠南信道路、佐久間地区においては、非常に順調に今、工事も進んでいて、本当にありがたいなという思いであります。

また、地域住民の声を味方にする必要がありますということで、交通基盤の整備要件について述べたいと思います。

国道 152 号は 1 車線道路であります。また春野町の地すべりや 8 月 16 日の 152 号線の龍山地区のがけ崩れ等、区内には多くの危険箇所があります。道路や橋梁施設等も含め、パトロールの強化や災害予防工事が必要と思います。災害発生時に迂回道路がまだ整備が余りしていないところもありますので、これも進めていただきたいと思います。

また 2 つ目として、整備効果についてでございますが、私たちの道路は北遠住民にとって生活道路であり、2 車線化が急務であります。道路やがけ等の未整備は、災害発生時に命にかかわる問題でもあり、三遠南信道路の整備と並行し、周辺道路及び周辺環境整備が必要でもあります。迂回道路の整備が整っていないと、自然災害や事故発生時には、生活そのものが寸断されてしまいます。

また 3 として、整備効果を高めるために取り組むべき課題につきましては、アセス報告書の調査項目に関連して、周辺の道路整備、橋梁整備、がけ、路肩整備等の整備を行うことが重要と考えられます。生活基盤の安定、観光誘致に向けた安全性の確保等を実現するためにも、周辺環境整備の計画的実施についての検討が必要と思われまます。

#### **コーディネーター／浜松市 鈴木市長**

ありがとうございました。平賀会長からは、骨格となる幹線道路だけではなく、それに連なる生活道路等、あるいは橋梁等の整備が必要だというご発言でございました。

実は佐久間のところには原田橋という、これは老朽化インフラの代名詞になっているような橋がございまして、調べたらワイヤーが切断をされているということで一時通行止めにして、佐久間町の皆さんに大変ご不便をおかけしました。これは佐久間の中の唯一の道で、なかなか迂回路がないものですから非常にご不便をおかけしまして、今は大型車を除き通行可能で、今急ピッチで新しい橋の新橋の整備を進めておりますけれども、そういった具体的な事案がございまして、そうした迂回路も含めた生活道路の整備ということであったのではないかなと思います。大事な視点ではないかと思えます。

さて、続きまして NPO 法人三遠南信アミ小粥康正様よりご発言をお願いします。

#### **NPO 法人三遠南信アミ 小粥康正**

浜松の人間です。もともと岩登り、ロッククライミングをやっています。愛知県の鳳来町で 30 年来ずっと岩登りをやってきました。旧鳳来町、今の新城市に 20 年以上家を借りて、最近はおぼとかも借りて行き来しながら生活しております。

皆様が今まで言ってきた道の情報とは少し異なる内容かとは思いますが、どうしても

話をさせていただきたいということで、道の分科会で話をさせていただくことになりました。

皆さん全員には渡っていないのですが、1枚、地図の入った資料が置いてあった方がいるかと思いますが、そのことについてお話をさせてください。

三遠南信で実際、主に中山間地域の方だと思いますが、実際生活にかかわっている中で一番関係している、実際に生活に関係している広域でやっている事業は、空を飛んでいるドクターヘリだと思います。どうしても救急で、下の道で間に合わない場合、ドクターヘリが三方原聖隷から飛んできていただいて、何とか一命を取り留めた場面が多々あるとお聞きしております。

運ばれた方は命が助かってとてもいいことだと思います。この前の全体会で新城の穂積市長が言われていた東三河北部医療圏というのがありまして、そのホームページを5、6年前につくった設楽町の友人と話をしていたときに、ドクターヘリで三方原聖隷に運ばれる。そうすると命は助かります。ただおじいちゃんが運ばれた。交通手段のないおばあちゃんは どうやって三方原聖隷まで行くかです。旧浜松の方は関係ないのですね。運ばれませんから。新城の方も運ばれることはありません。市民病院が近いので。実際に運ばれて困っているのは北設の方、あと北遠、佐久間、水窪の方、あと南信濃の方です。三方原聖隷に運ばれた場合、どうやって見舞いに行くかです。また、反対に、退院されたとしても通院しなくてははいけない。どうやって通院するかです。

この東三河北部医療圏のホームページをつくった友人が、回ってヒアリングをして、何とかしてあげたいと思うと彼が言っていました。皆さん、最寄りの飯田線の駅まで行きます。三方原聖隷は、三方原台地の北側にあります。北区にあります。しかし飯田線で豊橋

駅まで出て、東海道線に乗って浜松駅まで行き、さらに30分以上バスに乗って、また北に戻って行きます。とても日帰りできない。何とかできないかと彼がずっと言っていました。

私は、その後調べました。実際、全然方法がないわけではありませんが、今はこの方法しかありません。北区の引佐町田沢という場所があり、ここに渋川の方に向かうバスが通過しています。今度反対に新城の市営バスが田沢まで行っています。ここの連絡を合わせれば、ずいぶん早く行けますが、これが全然合っていません。

ドクターヘリを調べてみましたら、聖隷病院の創始者の長谷川保先生が言いだしてから実際に運用されるまで20年以上かかったと聞きます。1999年の4月に浜松救急医学会の研究事業として運用を開始して、2001年10月からに正式にドクターヘリ促進事業として定着したようです。20年以上かかったそうです。長谷川保先生は94年に亡くなられているので、ヘリを飛ぶのを見ずに亡くなりました。

実際、長野、静岡、愛知の3県のドクターヘリを調べると、長野県は佐久と松本、静岡県は浜松とあと伊豆の国市、伊豆の方です。愛知は長久手しかないのです。やっぱり三遠南信の地域で運ばれる場合は、三方原聖隷に運ばれることが多い。

もともと遠鉄バスが長篠まで行っていたが、2004年に採算が合わないということで廃止されています。その後、鳳来町のバスになって、今は新城市営バスになったようです。

実はこの話を5、6年前に聞いてからずっと私も思い悩んでいました。浜松が合併して、浜松市の北区内でも三方原聖隷や浜松医大に行くのに、浜松から南北に走る路線ばかりで、三方原聖隷とか医大に行きにくいということで、北区内のバスは編成されました。しかし、ドクターヘリで運ばれた人たちのことは考慮されていませんでした。

その後、新城は新城市の市営バスなので、相談をもっていきました。ただ設楽線のとの調整が優先順位は高いということで、話は進んでいませんでした。浜松の北区役所に知り合いがいるものですから、相談をもっていったのですが、ああそうなので終わってしまいます。

いろいろやってきたのですが、そういう問題があるよということ、この場でお話をさせていただいて、広域ですることですので、本当に必要であれば浜松と新城で調整していただいて、ぜひそういう方が、その後困らないようになってくれるといいなと思い、今日はお話をさせていただきました。

#### コーディネーター／浜松市 鈴木市長

ありがとうございました。救急搬送された後の患者さんの、あるいはご家族の足としてご不便があるということで、その解消をというご提言でございました。また、これは、今日は課題として出させていただいたということで、研究する必要があると。ただ路線バスというのはなかなか難しいと思います。とてもたくさんの方を運ぶという事業ではないので、今の過疎地有償運送事業とか、そういう特殊な事業も認可をされますので、そういうデマンド運送で対応することしかないかなと、直感的にはそう思いました。また研究してもいいかなと思います。ありがとうございました。

今、5名の方から、こうした交通基盤が整備された後、その効果をより高めるために取り組むべき課題についてご発言をいただきましたけれども、この5名の方以外でも、まだ少々お時間がありますので、ご発言がある方は挙手にてお願いができればと思います。特によろしいですか。

ありがとうございました。今日、「道」部会におきましては、三遠南信自動車道等交通網の整備、これが地域に大変大きな経済波及効

果をもたらしているということ。さらにそれをもっともっと効果を発揮させるためにはどういう課題があるのか、どうしたらいいのかということにつきまして、皆様からさまざまな貴重なご提案、ご意見をいただくことができました。

それでは、以上のご発言をもとに本日の「道」分科会の結論として、次の3点にまとめさせていただきます。

1点目は、三遠南信自動車道等の整備が進み、救急体制の拡充や生活圏の拡大、観光・産業の活性化など、本地域の活性化が徐々に図られつつある。これは現状認識でございます。

2番目、一方で、今なお整備が途上であったり、一部遅延するものがあったりなど、交通基盤の整備における課題は依然として存在する。

3番目、人口減少時代における三遠南信地域のさらなる活性化の基盤づくりとして、三遠南信自動車道を初めとした基幹道路の早期整備をめざし、地域全体が一丸となって国及び県に強く要望する必要があるという3点にまとめさせていただきました。

基本的には、これまでの方針を踏襲するものであらうと思いますが、それをより一層具体化する取り組みとして、今後、こうした基盤整備の促進に向けまして、一層スピードを加速していきたいと思っております。

皆様のご協力によりまして円滑かつ内容の濃い意見交換を行うことができました。ありがとうございました。

以上をもちまして「道」分科会を閉会させていただきます。